

## 今後の景観施策のあり方検討について（案）

### ○背景

- ・ 景観形成の現状や社会情勢の変化
- ・ 景観計画の策定から 10 年が経過
- ・ 区市の約 5 割が景観行政団体へ移行
- ・ 都市づくりの進展等に伴う景観特性の変化

### ○主な検討事項

- ・ 都市づくりの新たな施策展開への対応  
(2020 年に向けた実行プラン、都市づくりのグランドデザイン など)
- ・ 広域的観点からの景観施策のあり方  
(眺望保全対象建築物等の追加 など)
- ・ 大規模プロジェクト等の景観協議のあり方  
(夜間景観に関する景観形成基準の追加 など)
- ・ 歴史的建造物の保存支援及びその周辺景観形成のあり方  
(保存支援策の充実、「歴史的景観保全の指針」の見直し など)
- ・ 景観形成に関する技術革新への対応  
(壁面緑化、太陽光発電、デジタルサイネージの基準整備 など)

### ○検討の進め方（スケジュール）

- ・ 調査委託の実施（平成 29 年度）
- ・ 景観審議会への諮問（平成 29 年 5 月頃）、答申（平成 30 年 5 月頃）
- ・ 専門家検討会の実施（平成 29 年度 4 回程度）
- ・ 景観計画の変更等（平成 30 年度）